

# みよた未来人

## 町長対談

### 第1回 奥田健次さん

御代田町には、国内全域をリードする人材が、幅広い領域に存在しています。本号からスタートするこのコーナーでは、元新聞記者の小園町長が、御代田町の未来、そして長野の、日本の未来を担うキーパーソンと語り合います。原稿も町長自らが書いています。



幼稚園の壁には、たくさんの折れ線グラフが貼ってありますね。奥田「実践の一例を紹介しますと、あの園児には『〇分以内に着替えを済ませる』という目標を与えて、かかった時間を毎日計測し、記録しています。何分経過したか子どもでもよく分かるようなタイマーを使って、目標時間内にできたら



「強化子」を与え、1秒でも過ぎたら何も与えませんが、

「強化子」とは何ですか。

奥田「簡単に言うるとごほうびのことで、先ほどの例だとキャラクタ

ターもののシールなど、ごく安価なもので構いません。アメとムチ、と言う場合の、アメのことです。ただし、ムチは与えません。アメかアメなしか、だけです。強化子がもらえるように行動したり、ムチに当たる『弱化学子』を避けるように行動したりする人間の行動原理を活用するのが行動分析学です。その子の課題を克服するため、子ども一人一人にオーダーメイドで目標を設定し、達成したら強化子が得られます。目標がスマールステップ化されているためおおよそ改善で

きるのですが、例えば数週間改善がみられなければ目標を設定し直し、改善するまで粘り強く子どもを支援します。もちろん、強化子はモノとは限りません。ほめられるとか、社会的な注目が得られるとかも強化子の例です。園児の現在の行動がグラフで掲示されるのは、行動分析学が結果にコミットする学問であるからです。日本初で唯一の行動分析学を用いた幼稚園が、サムエル幼稚園なのです」

「通園しているお子さんたちはみんな、発達に何らかの課題を抱えている

## Profile



おくだ・けんじ 1972年(昭和47年)、兵庫県西宮市出身。専門行動療法士、臨床心理士。自閉症など発達にさまざまな子と家族を指導するため、国内外を飛び回る心理臨床家。2012年、塩野区に移住し行動コーチングアカデミーを主宰。2018年、学校法人西軽井沢学園理事長として、行動分析学を用いたサムエル幼稚園を開園。園内に株式会社アカデミーが運営する児童発達支援事業所ハンナを併設した。行政関連では、小諸市や徳島県などにおいて、教員指導など多数の実績がある。サムエル幼稚園は本年度の文部科学省「学習上の支援機器等教材活用評価研究事業」に採択された。漫画の主人公になった経験も含め、著書多数。

んですか。

奥田「勘違いされやすいところですが、いわゆる『定型児』も、サムエル幼稚園には普通に通っています。ただ、発達が定型であっても、お子さんそれぞれに課題はありますよね。定型発達のお子さんにも、行動分析学のアプローチの有効性は実証されています」

「そういえば私は片づけがとて苦手：奥田先生に訓練していただければバッチリですね。さて、先生と行動分析学の出会いについて伺いた

奥田「以前から御代田町には、本の執筆のために集中して仕事をするための書斎のような別荘を持っていました。ある時、幼稚園など、いろいろ自分のやりたいことを実現させるための場所を探していたら、別荘の目の前だったんです。ご近所にご挨拶に伺うと、『子どもたちの声がいつも聞こえるよ。うなるなんていいね』若し人が集まってくるなんてうれしいよ」と、ご年配の皆さんが心から歓迎してくれて。子どもが集まる場所を迷惑施設だととらえる時代に、御代田はすごくあったかい土地なんだなと思います、大学教員を退職してこの御代田町でやっていくことを決



意したんです」

奥田「若手のころから全然変わって

「これから、御代田町での活躍の機会もどんどん増えそうですね。本日はありがとうございました。」

「A君が人に抱っこされるのを初めて見た」と言われ、内心鼻が高かったのですが、次の日からは、同じことをやっても逃げられてしまっ。理由が分からず悔しい思いをしたんです。当時、大学では精神分析のゼミで勉強していた。精神分析の先生って話は面白いんですけど、目の前にいる子どもを助ける、というところから距離

## 子育て支援講演会 in みよた

日時 6月9日(日) 午後2時～4時30分  
場所 エコールみよた あつもりホール  
内容 基調講演 文部科学省特別支援教育調査官 田中 裕一 氏

パネルディスカッション 小園 拓志(御代田町長) 奥田 健次 氏

参加料 2,000円  
申し込み・問い合わせ先 氏名、ふりがな、所属等、電話番号、メールアドレスを明記の上、6月6日(木)までにevent@samuel-k.jpにご連絡ください。